

ヘッダーレコードの並び順について

(1) 外貨預金入出金明細

① 「日付順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「日付」の昇順、「口座（店番・科目コード・口座番号）」の昇順です。

データレコードの有無に関わらず「全銀行営業日」 / 「全口座」のヘッダーレコードが作成されます。*

*通知間隔を「翌日一括」でご契約のお客さまは、サイクル番号「01」のみ受信可能です。

サイクル番号「02」以降はファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

H	T	H	T	H	D	D	T	H	D	T	H	T	H	T	H	D	T	H	T	E
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a
8月1日										8月2日										口座a

例 <データレコードが0件の場合>

H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	E		
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a
8月1日										8月2日										口座a

凡例

H : ヘッダーレコード

D : データレコード

T : トレーラレコード

E : エンドレコード

② 「口座順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「口座（店番・科目コード・口座番号）」の昇順です。

■ ダミーへッダー作成ありの場合

データレコードの有無に関わらず「全口座」のヘッダーレコードが作成されます。*

*通知間隔を「翌日一括」でご契約のお客さまは、サイクル番号「01」のみ受信可能です。

サイクル番号「02」以降はファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

			8/1	8/2			8/1													
H	T	H	T	H	D	D	D	T	H	D	T	H	T	H	T	H	T	E		
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a																

例 <データレコードが0件の場合>

H	T	H	T	H	T	H	T	E
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d	口座a

■ ダミーへッダー作成なしの場合

データレコードがある「口座」のヘッダーレコードが作成されます。

データレコードが0件の場合は、ファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

			8/1	8/2			8/1													
H	D	D	D	T	H	D	D	T	H	D	T	H	T	H	T	H	T	E		
口座c	口座d	口座c																		

例 <データレコードが0件の場合>

ファイルなしエラー

(2) 外為取引明細 (会計性/非会計性)

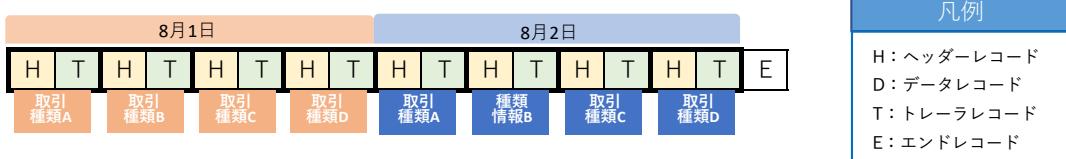
① 「日付・取引先番号・取引種類順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「日付」の昇順、「取引種類」（ヘッダーレコード 項番4「取引情報区分」）の昇順です。データレコードの有無に関わらず「全銀行営業日」／「全取引種類」のヘッダーレコードが作成されます。

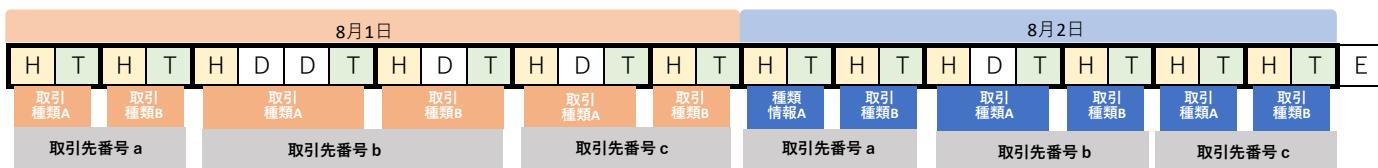
例 《一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合》



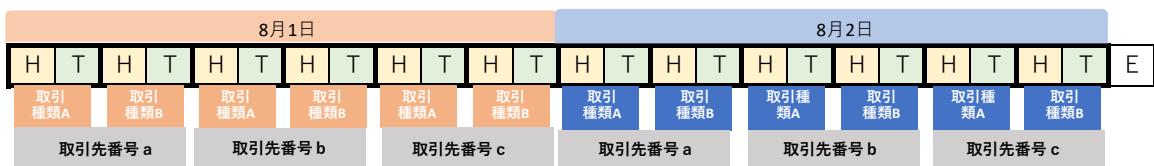
例 《データレコードが 0 件の場合》



例 『複数の取引先番号のデータにおいて、一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合』



例 <<複数の取引先番号のデータにおいて、データレコードが0件の場合>>



② 「取引先番号・取引種類・日付順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「取引種類」（ヘッダーレコード 項番4「取引情報区分」）の昇順、「銀行営業日」の昇順です。データレコードがある場合、ヘッダーレコードが作成されます。

例 《一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合》



例 《データレコードが 0 件の場合》

ファイルなしエラー

例 <<複数の取引先番号のデータにおいて、一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>>

